

総合展示部門 解説ガイドボランティア養成

金城 久枝¹⁾

Traning of the volunteer guide for the permanent exhibition room

Hisae KINJO¹⁾

はじめに

沖縄県立博物館・美術館では、県民の自己啓発や学習を発表する場の提供、また、博物館支援活動を目的としてボランティアを導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対し、よりきめ細かなサービスへの寄与と自己学習の場となることを目指している。現在、ボランティア活動の種類として、博物館ボランティア、ふれあい体験室専属ボランティアがある。

さて、当館では、来館者サービスの一環として、情報センターにおいて、総合展示部門解説用の音声ガイド貸出を行っている。しかし、台数に限りがあり、団体への貸出対応は物理的に無理がある。近年博物館を訪れる来館者の中には、展示内容について解説を要望する声が多く、観光客をはじめとする一般来館者、県外修学旅行団体から解説ガイドの配置要請が高まってきた。

そこで、年々変容する来館者ニーズへの対応、サービス向上を目指し、一般来館者、修学旅行生向けの総合展示部門解説ガイドボランティア養成に取り組むこととした。

ここでは、これまでの取組みを紹介したい。

1 解説ボランティア養成の経緯

当館で、ボランティアが組織として正式に発足したのは、沖縄県立博物館（首里）の1993年（平成5年）7月1日である。当初、ボランティア養成講座の窓口は生涯学習課にあり、運営が博物館ということであった。後、1996年（平成8年）窓口も博物館

へ移行した。ボランティアの活動は、主に教育普及活動全般にわたる活動の補助的役割を担っていた（沖縄県立博物館50年史, 1996）。教育ボランティア養成では、博物館におけるインタープリテーション（interpretation）活動の考えを基に、発見に向かわせる解説（前田, 1994–1995）の取組が行われた。ボランティア養成講座における展示解説については、子どもの来館をイメージし、知識や情報を教えるだけでなく、興味を刺激し、博物館における学習を啓発する内容となるよう進められた。

その後、2007年（平成19年）11月沖縄県立博物館・美術館として、首里からおもろまちへの移転を機に、平成19年度ボランティアを1期生とし、新体制での活動が始まった。首里の博物館で行われてきた活動を継承発展させるとともに、より教育的支援の必要な学校連携事業の取組みを強化し、展示ガイド、誘導、体験サポート等学校団体に対する支援体制が推進された。学校団体支援におけるボランティアの役割は、重要度が高い。ボランティアはこれまで、学校団体向け展示解説を主に行ってきたが、多様化するニーズとして、学校団体のみだけでなく、観光で来県した来館者など県内外から一般来館者向けの解説ガイド要望の声が年とともに増加傾向にあり、また、ボランティアの中からも、一般来館者に向けた解説ガイド養成講座開催の要望が高まってきた。博物館ボランティア活動の見直し（池原, 2012）において、一般来館者向け解説ガイドの必要性があげられている。

1) 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, 3-1-1 Omoromachi, Naha City, Okinawa Prefecture 900-0006 Japan

2 解説ガイドマニュアルについて

当館はこれまで、ボランティア対象の各種講座や分野別勉強会（民俗勉強会、歴史勉強会、美術工芸勉強会、自然史勉強会）を通して、展示に関する各種情報の提供を行ってきた。その成果として民俗部門展示室ガイドマニュアル（博物館ボランティア民俗勉強会、2010.4）と総合展示部門（歴史）ガイドマニュアル（博物館ボランティア歴史勉強会、2011.11）が、ボランティア、分野担当学芸員の努力で完成することができた。

3 実施までの流れ

（1）グループ会議（数回）2011年～2012年

参加者：県教育普及担当、文化の杜教育普及担当、ボランティア

グループ会議では、展示解説ボランティア員のイメージとして、やる気のある人、館の顔としての活動、条件、資格、配置など案作りへ向けた協議が行われた。また、2011年から2012年に行われたグループ会議では、組織体制の構築のあり方、解説内容の検討、配置方法の検討、研修方法の検討、受入方法の検討等が協議され課題が上げられた。

（2）2012年4月

離島小規模校を対象に展示解説ボランティアを開始 民俗有志という形態で行う（登録10名程）。

民俗勉強会へ参加し研鑽を積んだボランティア有志が離島など少人数の学校を対象にした展示解説ガイドを実施。

（3）2013年

7月 グループ会議での協議事項を土台に総合展示部門解説ガイドボランティア実施要項（案）作成

- ・ 検討会議 1
県教育普及、文化の杜教育普及

8月・ 検討会議 2
博物館班会議

- ・ 検討会議 3
文化の杜教育普及

- ・ 検討会議 4
県教育普及、文化の杜教育普及
- ・ 検討会議 5
県教育普及、文化の杜教育普及

9月・ 検討会議 6
博物館班長、県教育普及、
文化の杜教育普及、
ボランティア代表（民俗、歴史）

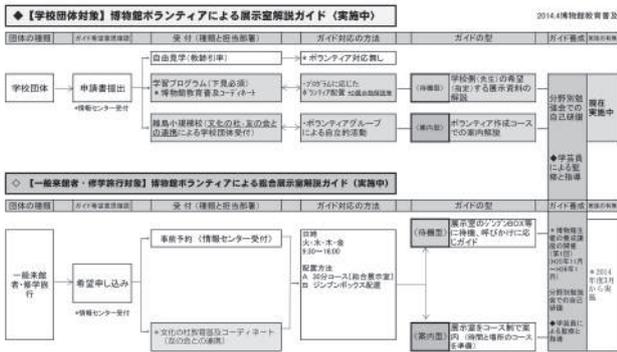
- ・ 検討会議 7
県教育普及、文化の杜教育普及

- ・ 検討会議 8
博物館班会議
総合展示部門解説ガイドボランティア実施要項決定

9月・ ボランティア連絡会にて概要説明

10月・ 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座募集開始

当初、解説ガイド養成を民俗部門と総合展示部門の2部門を予定していたが2013年7月からの検討会議の結果、沖縄の通史がわかる総合展示部門から解説ガイド養成を開始する事となった。受入の組織体制については、情報センターが受付を行い、文化の杜教育普及がコーディネートし友の会担当と連携をとり、解説ボランティアへ参加の呼びかけを行う（資料1）。解説内容は、総合展示室のみを30分でまわるAコースと100名以上の団体対応としてジンプンボックスを配置する待機型とした。Aコースは、総合展示室5カ所ほどの展示項目について、来館者を解説案内する。1カ所5分程の解説とする。Aコース及びジンプンボックス配置の総合展示部門5カ所については、歴史分野担当学芸員が解説箇所の選定を行い、琉球王国の成立、旧首里城正殿鐘、進貢船、琉球王国の衰亡、米軍車両とナンバープレート5カ所が選定された。また、一般来館者向け解説ガイドボランティア開催については、平成25年度は試行（準備）期間とし、平成26年度を本格実施の年とした。



資料 1

4 総合展示部門解説ガイドボランティア養成

(1) 第1回総合展示部門解説ガイドボランティア募集

平成25年度は試行（準備）期間とし、一般への募集を行わず1期から5期までの博物館ボランティアを対象に募集を行った（資料2）。

平成25年度博物館 ボランティア展示解説ガイド実施要項

（～一般来館者（修学旅行生含む）対応に向けて～）

博物館はこれまで、ボランティア対象の各種講座や分科別勉強会を通して、展示に関する各種情報の提供を行ってきた。その成果として民俗部門ガイドマニュアルと総合展示部門（歴史）ガイドマニュアルが、ボランティア、分科別担当学芸員の努力で完成することができた。

そこで今年度は、来館者へのサービス向上とニーズに対応するため、一般来館者（修学旅行生含む）向けのボランティア展示解説ガイド実施に向けての試行（準備）期間の年とする。

1 方針

- 展示解説ガイド実施に向けて
 - 博物館ボランティアの分科別勉強会協力のもと、ボランティアによる展示解説ガイドを1月下旬より実施する。
 - 指定管理者（文化の杜）教育普及担当がコーディネートの役割を担う。
 - 解説場所や内容については、「展示解説マニュアル」を基本とする。
- 展示解説ガイドボランティア養成について
 - 博物館教育普及担当は、平成26年度本格実施に向け展示解説ボランティア養成の企画・立案を担う。
 - 分科別担当学芸員は、解説ガイドの項目及び内容等について監修をおこなう。

2 組織体制

- 学校団体対象（県内）《実施中》・・・現行通りの体制で実施。
情報センター受付 → 学習プログラム（下見必修）
※県教育普及コーディネーター
離島小規模校
※文化の杜一友の会連携
- 一般来館者（修学旅行生）対象・・・試行取り組み
☆民俗部門
☆総合展示（歴史部門）
情報センター受付 → ※文化の杜教育普及コーディネーターの会連携

3 解説内容

A 30分コース⇒ 総合展示室のみを30分でまわる

- 総合展示室5カ所ほどの展示項目について、来館者を解説案内する。
- 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

B 30分コース⇒ 民俗部門展示室を30分でまわる

- 民俗部門展示室において、来館者を解説案内する。
- 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

※A+Bの60分コースも可

資料 2 - 1

C シンブンボックス⇒ 総合展示室への配置（時間設定を行う）

- 総合展示室の5カ所に配置。一か所5分程度を目安に来館者に解説する。
- 民俗部門の2カ所に配置。一か所5分程度を目安に来館者に解説する。
- 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

4 配置方法

- 「ふれあい体験室横（常設展示室入口）でボランティアが待機。
- 来館者の希望により、[A]・[B]・[A+B]・[C]を選択できるようにする。
- 展示解説ボランティアは2人1組でガイドを実施する。

5 受入

- 事前予約制（開催の2週間前までに申し込み）
- 火・水・木・金の9:30～16:00
- 10名以上の団体から受付
- ガイド1（2人1組）=1グループ（10名以上）・・・一般来館者、小規模の修学旅行生
- シンブンボックス待機（ボランティア7～14名の配置）・・・100名以上の団体

6 研修

- 総合展示部門解説ガイド養成講座内容・・・別紙参照
 - 募集期間
平成25年10月1日（火）～10月16日（水）
 - 申込み方法
申込用紙に記入し、ボランティア室設置の箱に投函する
※ボランティア室に箱を設置（申込用紙を1週間おきに回収する）

資料 2 - 2

平成25年度 沖縄県立博物館・美術館

第1回

「博物館 総合展示部門 解説ガイドボランティア養成講座」申込書

第1回		「博物館 総合展示部門 解説ガイドボランティア養成講座」申込書		※は必須
※フリガナ	※性別	※生年月日		
※氏名	男・女	19（ ）/昭和（ ）年 月 日		
※住所 〒				
※電話（自宅）				
※携帯電話番号				
※メールアドレス				
ガイド経験	有・無	有の場合のみ「実績」をご記入下さい。		
ガイド可能な曜日、時間帯を	曜日			
	時間帯			

- 募集期間
平成25年10月1日（火）～10月16日（水）〆切
- 申込み方法
申込用紙に記入し、ボランティア室設置の箱に投函する

資料 2 - 3

9月のボランティア連絡会にて総合展示部門解説ガイドボランティア募集に関する概要を説明し、10月1日から10月16日を募集期間とした。養成講座は、11月20日の開講式を皮切りに全8回を実施（資料3）。受講生へは事前学習として、博物館学習ノートの活用を呼びかけた。学芸員による総合展示室での展示解説は、歴史、民俗、美術工芸、考古、生物、地学、人類の7分野の学芸員が担当分野について、重点を置いた解説が行われた（写真1～写真8）。

平成25年度 沖縄県立博物館・美術館

「第1回 博物館 総合展示部門 解説ガイドボランティア養成講座」日程表

回	開催日・場所	時間	内容	担当者
1	11月20日(水) (美術館講座室)	13:30~13:50 14:00~14:30 14:45~15:45	ガイド心得 総合展示室について 歴史分野の展示解説について	金城 久場班長 崎原・岸本
2	11月22日(金) (常設展示室)	13:00~14:00 14:15~15:15 15:30~16:30	民俗分野の展示解説について 美術工芸分野の展示解説について 考古分野の展示解説について	大湾 國原・奥那嶺 片桐
3	12月4日(水) (常設展示室)	13:00~14:00 14:30~15:30 16:00~17:00	生物分野の展示解説について 地学分野の展示解説について 人類分野の展示解説について	山崎仁也 仲里 藤田・山崎真治
4	12月6日(金) (常設展示室)	13:30~14:30 15:00~16:00	実習① *受講生同士によるガイド練習 (A、Bグループ) ・講評と寸論	金城
5	12月10日(火) (常設展示室)	13:30~14:30 15:00~16:00	実習② *受講生同士によるガイド練習 (C、Dグループ) ・講評と寸論	金城
6	1月14日(火) (常設展示室)	13:30~14:30 15:00~16:00	実習③ *受講生同士によるガイド練習 (A、Bグループ) ・講評と寸論	金城
7	1月17日(金) (常設展示室)	13:30~14:30 15:00~16:00	実習④ *受講生同士によるガイド練習 (C、Dグループ) ・講評と寸論	金城
8	1月22日(水) (博物館講座室)	14:30~15:30	開講式 *ガイド証の発行	金城 学芸員、班長

※修了要件：全8回中6回以上の出席。(実習①~④は、①・③、②・④の組み合わせで計2回)

※実習①~④では、各自2回のガイド実習(実践研修)を行う。*1人=2~3カ所(約10分~15分)

※原則、講座の補講は設けない。

※学芸員による総合展示室での展示解説(7分野)。担当分野について、重点を置いた解説を実施。
・一般来館者(修学旅行生含む)への解説ガイドを想定し展示室の見どころを紹介。

☆受講生への連絡事項

○『博物館学習ノート』を事前学習すると当日の講座が理解しやすいと思います。

○『博物館学習ノート』は、博物館ホームページや情報センターで見ることができます。

資料3



写真1 開講式 館長挨拶の様子



写真2 学芸員による解説(歴史分野、近世・古琉球)



写真3 学芸員による解説(歴史分野、近現代)



写真4 学芸員による解説（民俗分野）



写真7 学芸員による解説（自然史分野・生物）



写真5 学芸員による解説（美術工芸分野）



写真8 学芸員による解説（自然史分野・地学）

実習①②③④では、受講生をA・B・C・Dの4グループに分け実践形式の受講生同士による演習とし、講評と寸論を行った（写真9～写真11）。



写真6 学芸員による解説（考古分野）



写真9 グループでの講評と寸評の様子



写真10 グループでの講評と寸評の様子



写真11 閉講式の様子

(2) 第2回総合展示部門解説ガイドボランティア募集

平成26年度は、第6期博物館ボランティア募集とともに、総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座受講へつなげる形態での募集とした(資料4)。第6期博物館ボランティア応募者は、5月から7月は養成講座を受講、8月は自己研修期間、9月から10月は専門講座(資料5)を受講する。養成講座、専門講座をすべて修了し、博物館ボランティアとして登録される。第6期生として、博物館ボランティアへ登録後、総合展示部門解説ガイドボランティアを希望した場合、引き続き総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座(資料6)を受講できる形態とした。また、1期から5期博物館ボランティアも解説ガイド養成講座への受講ができるよう8月15日から9月2日、1期から5期の博物館ボランティアを対象に募集を行った。総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座を日程表1、日程表2とした。

3ヶ月にわたる養成講座を修了し、1月22日の閉講式では、25名が総合展示部門解説ガイドボランティアに登録された。

25名の解説ガイドボランティア養成後、2月から沖縄県立博物館・美術館HPにて、オンラインによる総合展示部門解説ガイド開催ありの広報が開始された。広報後すぐに情報センターへの申し込みがあり3月には、文化の杜教育普及がコーディネートを行い、友の会担当者連携のもと2件の団体対応が行われた。



写真12 専門講座 考古分野



写真15 専門講座 美術工芸分野



写真13 専門講座 歴史分野、近世・古琉球



写真16 専門講座 自然史分野・生物



写真14 専門講座 歴史分野、近現代



写真17 専門講座 自然史分野・地学



写真18 専門講座 自然史分野・人類



写真21 先輩ボランティアによる解説の様子



写真19 専門講座 民俗分野



写真22 グループでの講評と寸評の様子



写真20 開講式の様子

今回、養成講座日程2で、先輩ボランティアに学ぶと題し、一般来館者に対応している解説ボランティアが実践している形式を演習として実習に取り入れた。その後、11月から12月にかけてグループ毎に演習を行った。10月から12月までの養成講座を終え第2回総合展示部門解説ガイドボランティアとして、13名が登録された。

おわりに

平成26年4月から総合展示部門解説ガイドボランティアの本格実施として、沖縄県立博物館・美術館HPをはじめとする広報がスタートした。今年度、総合展示部門解説ガイドボランティアは、12月時

点で10団体への対応が実施されている。また、7月からは、ジンプンボックス配置型を週3日、午後の時間帯に固定で実施している。夏休みには、来館する子ども達が増えることから週4日のジンプンボックス配置を実施した。団体申込みをはじめ、ジンプンボックスの配置は、県内外の一般来館者、修学旅行の来館者からも好評を得ており、需要はこれからも増すと思われる。軌道に乗ってきた総合展示部門解説ガイドボランティア実施については、県、文化の杜、博物館ボランティア、友の会の連携、協力が背景にある。なかでも、博物館ボランティアに登録されたボランティアは、民俗分野勉強会、歴史分野勉強会、美術工芸分野勉強会、自然史分野勉強会の各勉強会に自主的に参加し、それぞれの分野に関する知識を深める等研鑽を積み積極的に活動に取り組んでいる。現在、美術工芸分野勉強会が民俗分野勉強会、歴史分野勉強会に続き、解説ガイドマニュアルの作成を進めている。

今後の取組として、当初予定していた、民俗分野部門の解説ガイドボランティア養成講座を実施し、（現在、民俗勉強会へ参加し研鑽を積んだボランティア有志が離島など少人数の学校を対象に展示解説ガイドを行っている）。美術工芸分野部門解説ガイド養成講座と順次、分野別解説ガイドボランティア養成の拡大が出来ればと考えている。多様化する来館者ニーズへの対応を含め教育普及事業の活性化に向け、次年度も取組を推進していきたい。

参考文献

- 沖縄県立博物館50年史. 1996.
- 前田真之. 1994. インタープリテーションとボランティアガイド. 沖縄県立博物館紀要 20:49-65.
- 前田真之. 1995. 発見に向かわせる解説:物から学ぶ. 沖縄県立博物館紀要 21:1-17.
- 池原盛浩. 2012. 博物館ボランティア活動の見直し. 沖縄県立博物館・美術館紀要 5:147-156.

博物館ボランティア〈第6期〉募集要項

沖縄県立博物館・美術館では、地域の方々へ自己啓発の場を提供するとともに、博物館活動の活性化、来館者へのサービス向上、多様化するニーズへの対応を目指し第6期ボランティアを募集します。

◆ 活動内容・募集人数

A 博物館ボランティア〈主に平日活動〉 50名

- ① 展示解説ガイド（主に学校団体対応）
「博物館常設展示室」において、展示資料の案内、質問対応などを行う。
- ② 体験学習サポート
「ふれあい体験室」「博物館実習室」を中心とした、体験学習サポートなどを行う。
- ③ 資料整理活動
新聞スクラップ整理／各種刊行物発送作業サポートなどを行う。

B ふれあい体験室専属ボランティア〈土・日・祝祭日活動〉 10名

「ふれあい体験室」でのサポート

◆ 応募資格・条件など

- ・18歳以上（高校生を除く）で、心身ともに健康な方
- ・博物館活動に興味・関心のある方
- ・各種研修すべてを受講できる方
- ・登録後、月に2日以上、当館においてボランティア活動ができる方

◆ 受講料

無料

◆ 登録と活動

- ・養成講座及び専門講座修了者 → 博物館ボランティアへ登録（10月）
- ・養成講座及び専門講座を修了した者で、総合展示部門解説ガイド養成講座実習①～実習⑤を修了した者 → 総合展示部門解説ガイドへ登録（12月）
- ・ふれあい専属ボランティア養成講座修了者 → ふれあい体験室専属ボランティアへ登録（7月）
- ・所定の研修を修了した方を、ボランティアとして登録（博物館費用でボランティア保険加入）し、翌年の登録を希望する場合、活動状況などを基に1年度毎の更新となります。
- ・10月の登録証交付式で配布される【ボランティア証】を着用し、活動を開始していただきます。

◆ 応募期間及び方法

平成26年4月8日(火)～4月29日(火)

申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送、来館のいずれかで4月29日(火)必着

問合せ先 TEL(098)941-8200 FAX(098)941-2392

沖縄県立博物館・美術館（文化の杜 担当：亘保、大濱）

受付：9:00～18:00（月曜日を除く）

◆ ボランティア登録までの流れ

- ・募集期間 平成 26 年 4 月
- ・開講式 平成 26 年 5 月 14 日(水)・5 月 17 日(土)
- ・養成講座 平成 26 年 5 月～7 月
- ・専門講座 平成 26 年 9 月～10 月 ※日程等調整中
- ・総合展示部門解説ガイド養成 実習①～実習⑤ 平成 26 年 11 月～12 月 ※日程等調整中
- ・登録証交付式 平成 26 年 10 月中旬 ※日程等調整中

◆ 養成講座の日時・場所

- ・平成 26 年 5 月 14 日(水)～
- ・A 博物館ボランティア：毎週水曜日、金曜日 14:00～16:00 ※開講式 5 月 14 日(水)
- ・B ふれあい体験室専属ボランティア：土曜日 10:00～12:00 ※開講式 5 月 17 日(土)
- ・沖縄県立博物館・美術館：講座室など

◆ 博物館ボランティア養成講座〈日程表〉

A 博物館 ボラン ティア	回数	内 容	日 時		形態	担当学芸員
			前半14:00～	後半15:00～		
	1	開講式／博物館活動について	5月14日(水)	(美講室)	講 座	上地班長
	2	博物館ボランティアについて／IPMについて	5月21日(水)	(美講室)		金城・仲里
	3	自然史／人類	5月30日(金)	(博講室)		山崎(仁)・仲里 山崎(真)・藤田
	4	考古／歴史	6月4日(水)	(美講室)		片桐 崎原・石垣
	5	民俗／美術工芸	6月13日(金)	(美講室)		大湾 園原・與那嶺
	6・7	ボランティア実習 ふれあい体験室や展示室での来館者を想定した実地研修を行う	6月18日(水) 7月11日(金)	(博講室)	実 習	金城・比嘉 (渡部)

B ふれあ い専 属ボ ラン ティア	回数	内 容	日 時		形態	担当学芸員
			10:00～12:00			
	1	開講式／博物館活動について ／博物館ボランティアについて ／IPMについて	5月17日(土)	(実習室)	講 座	金城・比嘉 (渡部)
	2	ボランティア実習① ふれあい体験室について 体験キットについて 常設展示室との関連について	6月7日(土)	(ボランティア室)	実 習	金城・比嘉 (渡部)
	3	ボランティア実習② ふれあい体験室での来館者を 想定した実地研修/意見・感想 交換/開講式・登録証交付式	7月12日(土)	(実習室)	実 習	金城・比嘉 (渡部)

資料5

平成26年度 博物館ボランティア専門講座、総合展示部門解説ガイド養成講座実施計画

1 目的

- (1) 本講座は、博物館の第6期ボランティアが、総合展示室、部門展示室の資料を出発点しながら、ふれあい体験室の体験キットや「博物館学習ノート(ワークシート)」の作成意図を理解し、学校団体対応におけるボランティア活動を円滑に行えるようにする。
- (2) 来館者へのサービス向上やニーズに対応するため、一般来館者(修学旅行生含む)向けのボランティア展示解説ガイドを実施できるようにする。

2 対象 沖縄県立博物館・美術館 博物館第6期ボランティア研修生

3 期日・時間

平成26年9月19日(金)～10月17日(金)

14:00～16:00 (2時間)

4 場所 博物館常設展示室、ふれあい体験室、実習室

5 内容

展示室、ふれあい体験室、実習室等の三ヶ所でそれぞれの学芸員が解説する。
受講生は35分単位で、まとめて移動する。

- **展示室**：ボランティアが学校団体の支援に入った時を想定し展示室の見どころを紹介する。
*「博物館学習ノート(ワークシート)」「ガイドマニュアル」を活用
- **ふれあい体験室**：体験キットの解説を行う。*体験キットと展示室との関連

6 日程表

回数	期日	分野・内容 <各35分>		
		A[展示室]	B[ふれあい体験室]	C[実習室]
◎タイムスケジュール		14:00～14:35(35分)	14:35～15:10(35分)	10分 15:20～15:55(35分)
1	9月19日(金)	考古－片桐	考古－片桐	トイ レ休 教育普及(学校団体受入①) 教育普及(学校団体受入②) 教育普及(民具体験C) 教育普及(民具体験B)*文化の杜 教育普及(スタッフ業務)*文化の杜 *車両登録についての説明等 登録証交付式 ～引き続き ボランティア全体会 (新旧顔合せ) 15:20～16:30
2	9月24日(水)	歴史－石垣/崎原	歴史－石垣/崎原	
3	9月26日(金)	美工－與那嶺/園原	美工－與那嶺/園原	
4	10月1日(水)	生物－山崎(仁)	生物－山崎(仁)	
5	10月10日(金)	地学/化石－仲里	地学/化石－仲里	
6	10月15日(水)	人類－藤田/山崎(真)	人類－藤田/山崎(真)	
7	10月17日(金)	民俗－大湾	民俗－大湾	

7 総合展示部門 解説ガイド養成講座

日程表 開催時間14:00～16:00

1	10月24日(金)	開講式、ガイド心得、実習①
2	11月5日(水)	実習②
3	11月19日(水)	実習③
4	12月3日(水)	実習④
5	12月17日(水)	実習⑤ 閉講式、ガイド証交付

☆研修生への連絡事項

- ※『博物館学習ノート』は、事前学習すると当日の講座が理解しやすいと思います。
- ※『博物館学習ノート』は、博物館ホームページや情報センターで見ることができます。
- ※台風時、暴風警報が発令された場合は中止とします。
- ※飲食物の持ち込みは、ご遠慮ください。(ガムを含む)
- ※専門講座の補講は、設定しません。一欠席者はレポートを提出します。

平成26年度博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座実施要項

1 目的

来館者へのサービス向上や多様化するニーズに対応するため、一般来館者（修学旅行生含む）向けの総合展示部門解説ガイドボランティア養成を行う。

2 方針

(1) 展示解説ガイド実施に向けて

- ① 博物館ボランティアの分野別勉強会協力のもと、ボランティアによる総合展示部門解説ガイドを実施する。
- ② 指定管理者（文化の杜）教育普及担当がコーディネートの役割を担う。
- ③ 解説場所や内容については、「展示解説マニュアル」を基本とする。

(2) 展示解説ガイドボランティア養成について

- ① 博物館教育普及担当は、平成26年度総合展示部門解説ガイドボランティア養成の企画・立案を担う。
- ② 分野別担当学芸員は、解説ガイドの項目及び内容等について監修をおこなう。

3 組織体制

(1) 学校団体対象（県内）《実施中》・・・現行通りの体制で実施。

情報センター受付 → 学習プログラム（下見必修）

* 県教育普及コーディネート

離島小規模校

* 文化の杜一友の会連携

(2) 一般来館者（修学旅行生）対象

☆ 総合展示部門

情報センター受付 → * 文化の杜教育普及コーディネート⇔友の会連携

4 内容

A 30分コース⇒ 総合展示室のみを30分でまわる

- (1) 総合展示室5か所ほどの展示項目について、来館者を解説案内する。
- (2) 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

B シンブンボックス⇒ 総合展示室への配置（時間設定を行う）

- (1) 総合展示室の5カ所に配置。一か所5分程度を目安に来館者に解説する。
- (2) 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

5 配置方法

- (1) 来館者の希望により、[A]・[B]を選択できるようにする。
- (2) 展示解説ボランティアは2人1組でガイドを実施する。
- (3) 文化の杜教育普及がコーディネートする。

6 受 入

- (1) 事前予約制（開催の2週間前までに申し込み）
- (2) 火・水・木・金の9:30～16:00
- (3) 10名以上の団体から受付
- (4) ガイド1（2人1組）＝1グループ（10名以上）・・・一般来館者、小規模の修学旅行生
- (5) ジンボンボックス待機（ボランティア7～14名の配置）・・・100名以上の団体

7 研 修

- (1) 総合展示部門解説ガイド養成講座内容・・・別紙参照
 - ①募集期間（1期～5期ボランティア）
平成26年8月15日（金）～9月2日（火）
 - ②申込み方
申込用紙に記入し、ボランティア室設置の箱に投函する
※ボランティア室に箱を設置（申込用紙を1週間おきに回収する）
- (2) 総合展示部門解説ガイド養成講座内容・・・別紙参照
 - ①募集期間（6期ボランティア）
平成26年9月19日（金）～10月1日（水）〆切
 - ②申込み方
申込用紙に記入し、専門講座受付時に提出する。

「第2回 博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座」 日程表 1

回	開催日・場所	時 間	内 容	担当者
1	9月19日(金) (常設展示室)	14:00~14:35	考古分野の展示解説について	片桐
2	9月24日(水) (常設展示室)	14:00~14:35	歴史分野の展示解説について	崎原・石垣
3	9月26日(金) (常設展示室)	14:00~14:35	美術工芸分野の展示解説について	園原・與那嶺
4	10月1日(水) (常設展示室)	14:00~14:35	生物分野の展示解説について	山崎仁也
5	10月10日(金) (常設展示室)	14:00~14:35	地学分野の展示解説について	仲里
6	10月15日(水) (常設展示室)	14:00~14:35	人類分野の展示解説について	藤田・山崎真治
7	10月17日(金) (常設展示室)	14:00~14:35	民俗分野の展示解説について	大湾

※学芸員による総合展示室での展示解説（7分野）及び担当分野について、重点を置いた解説を実施。

ボランティアが学校団体の支援に入った時、及び一般来館者（修学旅行生含む）への解説ガイドを想定し展示室の見どころを紹介。

☆講座修了要件として、第6期ボランティア養成の専門講座第1回～第7回を受講すること。

☆原則、講座の補講は設けない。

日程表2

回	開催日・場所	時間	内容	担当者
1	10月24日(金)	14:00~14:10 14:10~14:30 14:30~15:00 15:10~16:00	開講式 ガイド心得 総合展示室について 実習① 先輩ボランティアに学ぶ	金城、比嘉 金城 園原 金城、比嘉
2	11月5日(水)	14:00~14:50 15:00~16:00	実習② (A、Bグループ) *受講生同士によるガイド練習 ・講評と寸論	金城、比嘉
3	11月19日(水)	14:00~14:50 15:00~16:00	実習③ (C、Dグループ) *受講生同士によるガイド練習 ・講評と寸論	金城、比嘉
4	12月3日(水)	14:00~14:50 15:00~16:00	実習④ (A、Bグループ) *受講生同士によるガイド練習 ・講評と寸論	金城、比嘉
5	12月17日(水)	14:00~14:50 15:00~16:00	実習⑤ (C、Dグループ) *受講生同士によるガイド練習 ・講評と寸論 閉講式、ガイド証交付式	金城、比嘉 学芸員、班長

☆講座修了要件 (1期~5期ボランティア)

- 1 第6期ボランティア養成の専門講座第1回~第7回を受講すること。(日程表1参照)
- 2 全12回中10回以上の出席。(実習②~⑤は、②・④、③・⑤の組み合わせで計2回)
- 3 実習②~⑤では、各自2回のガイド実習(実践研修)を行う。*1人=2~3カ所(約10分~15分)
- 4 原則、講座の補講は設けない。

☆受講生への連絡事項

- 『博物館学習ノート』を事前学習すると当日の講座が理解しやすいと思います。
- 『博物館学習ノート』は、博物館ホームページや情報センターで見ることができます。

☆講座修了要件 (6期ボランティア)

※6期生は、ボランティア養成講座における専門講座第1回~第7回終了後、日程表2の研修へ。

- 1 全12回中10回以上の出席。(実習②~⑤は、②・④、③・⑤の組み合わせで計2回)
- 2 実習②~⑤では、各自2回のガイド実習(実践研修)を行う。*1人=2~3カ所(約10分~15分)
- 3 原則、講座の補講は設けない。

平成 26 年度 沖縄県立博物館・美術館

第2回 「博物館 総合展示部門 解説ガイドボランティア養成講座」 申込書 ※は必須		
※フリガナ	※性別	※生年月日
※氏名	男・女	19() / 昭和()年 月 日
※住所 〒		
※電話(自宅)		
※携帯電話番号		
※メールアドレス		
ガイド経験	有・無	有の場合のみガイド実績をご記入下さい。
ガイドが可能な曜日、時間帯をご記入下さい。	曜日	
	時間帯	

博物館ボランティア 1 期から 5 期対象

- 1 募集期間
平成 26 年 8 月 15 日(金) ～ 9 月 2 日(火) 〆切
- 2 申込み方法
申込用紙に記入し、ボランティア室設置の箱に投函する

博物館ボランティア 6 期対象

- 1 募集期間
平成 26 年 9 月 19 日(金) ～ 10 月 1 日(水) 〆切
- 2 申込み方法
申込用紙に記入し、専門講座受付時に提出する。